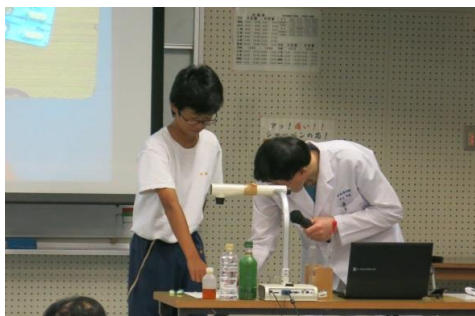


平成29年度第3学年 学年通信	Boys and girls , be Ambitious	第15号(通算102号)	
『自立と協調～そして感謝と思いやり』		7月	14日

「薬の教室(薬物乱用防止教室)を実施しました」

7月13日(木)5限目、学校薬剤師の片上和則先生をお招きし、薬に関わるお話をしていただきました。授業の前半は医薬品について、後半は、違法薬物(危険ドラッグ)について話がされ、50分間集中して話を聞くことができました。

医薬品の話では、そもそも医薬品とは何か、薬を飲む際にはどれくらいの水を飲めばいいのか、倍の量の薬を飲めば症状は良くなるのか、食前・食後・食間がいつ頃の時間帯を指すのか、どこで薬を保管すべきなのかなど、日常生活で必要となる医薬品に対する知識を学ぶことができました。



後半の、違法薬物(危険ドラッグ)についての話では、違法薬物の使用による依存の怖さや違法薬物が身近な問題であることを学ぶことができました。また、違法薬物に対して、正しい知識・正しい判断・正しい行動で大切なものを守るためにも、自分自身をしっかりコントロールしていかなければならないことも学ぶことができました。



まとめ 薬の正しい使い方

- ① 自然治癒力を高めるため、体と心の健康を保ちましょう。
- ② 薬を飲む時間、回数、量を守りましょう。
- ③ 病気が治ったと思って、決められた日まで飲みましょう。
- ④ 他人から薬をもらったりあげたりしない。
- ⑤ 前の病気の時にもらった薬は使わない。
- ⑥ 薬を飲んだ後は、薬が効いているか、副作用が出ていないか気を付けましょう。
- ⑦ 薬はいつもきちんと整理して保管しましょう。



授業のなかで音読やみんなの前に出てきて実験を行う場面もありましたが、指名された生徒の皆さんの頑張りで楽しく薬のことについて学ぶことができたように思います。また、スライドへの反応や指名された子を見守る雰囲気も良かったです。今後も学年全体で話を聞く場面があると思いますが、今日のような雰囲気を維持していきたいですね。生徒の皆さんの感想は次のようなものがありました。

- 薬物は1度使うとやめられないから改めてこわいと思った。
- 薬を飲むときに、今日言われたことを意識していこうと思いました。
- 実験や質問など興味を持たせる話ばかりで、楽しみながら真剣に聞くことができました。

今日の授業で学んだ薬の情報を、自分たちの生活に活かしていきましょう。

